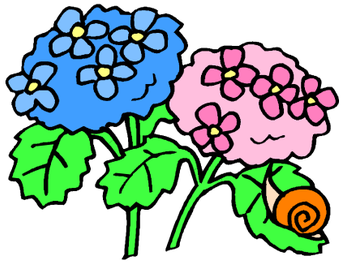
No.167
2012．5．30発行

栄養職員部ニュース

全教栄養職員部　TEL ０３（５２１１）０１２３
FAX ０３（５２１１）０１２４
〒102-0084　東京都千代田区二番町 12-1
全国教育文化会館 ３階



第22回　大会・学習会をみなさんの参加で成功させましょう！

全教栄養職員部では、豊かな学校給食の実現と食教育の充実のため様々なとりくみをすすめています。大会・学習会では全国から仲間が集まり、組合でのとりくみや日頃の実践を交流することができます。悩みや・困っていること・課題も出しながら、みんなで考えお互いに元気がもらえる場となっています。今年は、東日本大震災から１年余りが経ち、学校給食への影響や放射能汚染への対応についても情報交換しながら今後の方針を決める大会になります。

この１年の運動やとりくみの総括をし、来年度の方針をみんなで決めて大会を大きく成功させるためにも、大会・学習会への参加準備お願いします。

【第22回定期大会のお知らせ】

第２２回定期大会

●日時　　7月28日（土）　１３：００～１６：３０
●会場　　東京「全国教育文化会館」
●代議員数については昨年同様、以下の通りです。

組合員数	代議員数	組合員数	代議員数
１人～２０人	２人	９１人～１９９人	１０人
２１人～３０人	３人	２００人～２９９人	１３人
３１人～４０人	４人	３００人～３９９人	１６人
４１人～５０人	５人	以下同様に１名ずつ加算	
以下同様に１名ずつ加算			

※参加については、代議員が確保できるように、今から調整をお願いします。
代議員を上回る場合は、傍聴者としても参加することができます。
（傍聴の場合の旅費は全教で負担することはできません）

交流会

●日時　　7月28日（土）　１８：００～
●会場　　**「明治記念館（和食）」**
最寄駅：・JR 中央・総武線【信濃町駅】下車、徒歩３分
・地下鉄 銀座線･半蔵門線･大江戸線【青山一丁目駅】下車（２番出口）、徒歩６分
・地下鉄 大江戸線【国立競技場駅】下車（A1 出口）徒歩６分

一年中緑も鮮やかな庭園、花や樹木が季節を織りなす空間。
1000 坪の庭園にはおよそ 2000 本、50 種類の樹木が繁ります。伝統とモダンの特別な時を感じる祝いの館です。日常を忘れさせる風情の中、美味しい和食をいただきます。
●会費　　10,000 円

その他　連絡

※宿泊は、「グリーンパレス」または「ルポール麹町」です。

一校一名の学校栄養職員・栄養教諭の配置を求める
署名は、6月15日の文科省交渉に持参します！

今年度は、一校一名配置署名をより推進させるためにビラを作り、各都道府県で私達の職務への理解を広げる活動とともに署名のご協力をいただいていることと思います。

署名用紙もビラも３月 28 日付で各組織に送付済みです。６月１５日の文科省交渉の際に、第一次集約をした署名を持参しますので、ご協力をお願いいたします。
署名の取り組みを強化し、来年度予算に組み入れられるよう取り組みましょう。

【夏期学習会のお知らせ】

●日時　　7月29日（日）　９：００～１５：３０　（受付　８：４５～）
●会場　　東京「全国教育文化会館」

第一部　～分科会～　９：００～１２：００

全体会でテーマ別に４つの報告を受け、その後分科会にわかれます。
◎「食教育」分科会　①「子どもをいきいきさせる食教育教材あれこれ」：猪瀬さん
②「自校式からセンターに異動して」：市野川さん
◎「合理化」分科会　③「栄養士の民間委託問題の今」：東京都江戸川区
◎「障害児」分科会　④「坂戸ろう学園のとりくみ」：島村さん
☆参加者交流（実践報告など、交流資料をご用意ください）

第二部　～講演会～　１３：３０～１５：３０

◎演題：**「いつもの仕事が法律違反！？偽装請負って何？～民間委託について弁護士さんから学ぶ～」～**
◎講師：弁護士 **萱野（かやの） 一樹（かずき）**さん
◎講師プロフィール：
京都育ち　京都大学出身　司法修習第４９期　第二東京弁護士会所属
東京都杉並区の給食調理業務民間委託問題でも担当弁護士として、私たちとともに戦いました。その他、戦後補償に関する国家賠償請求訴訟弁護団、国鉄労働組合採用差別事件弁護団、国歌斉唱時の不起立者に対する懲戒処分取消訴訟弁護団、カルテのないＣ型肝炎訴訟弁護団などで活動しています。

年々増え続ける調理業務の民間委託。その中で調理員さんと私たち栄養教諭・学校栄養職員は教育としての給食を支えるため、連携を図ってきました。しかし、「偽装請負問題」が浮上し、私たちの声が給食に生かされない非常な辞退が起きています。教育としての給食をこれからますます進めるために、解決の糸口を探すために、ともに学びましょう！

その他　連絡

●おすすめレシピもご持参ください！(80 部)
※組織名と校種(小・中学校)を記載してください。
※大会後に取り入れやすい**冬のメニュー**もたくさんお待ちしています☆
●レポートなどは 80 部、印刷してご持参ください。
●学習会の当日はお弁当を用意します。必要な方は、あらかじめお申し込みください。

3月委員交流会報告

全教栄養職員部　交流会@京都教育会館　2012/03/10

(1)一校一名署名のとりくみ

昨年度の最終集約　：　１０，４９５筆でした。（３月末）

(2)各県の交流（栄養教諭についてが主）

埼玉　　栄養教諭は特別選考のみなので初任者研修はあるが、５年次研修は栄養職員からの経験年数を加味した年数で考えられる。１月に県教委交渉をした。

埼高教　　初めて栄養教諭の採用試験が実施された。採用枠が１名で、１名合格者が出た。

東京　　勤務地の制限（１地区１名のみ）を含む５カ年計画が H24 年度で終了する。現状では制限があるため、受験者も減少し、合格しても通勤条件に無理が出ている。

京都　　正規の栄養職員は（産･育休の方以外）みんな栄養教諭になった。※講師(臨時採用)がいるため、配置状況の現状では 100%にはならない。

奈良　　長年なかった採用試験を実施。新採が３名増えた。毎年少しずつ採用される予定。栄養職員からの任用替え（特別選考）なくなる。採用試験は、３年の講師経験があれば 45 歳まで受験資格がある。学校栄養職員が授業をする時は、特別非常勤講師という申請をする。

大阪　　希望者は、全員任用替えを済ませた。現在は、給与の違いから代替職員は臨採技師(学校栄養職員)なので、代替教員の確保を要求をしている。

府は中学校給食に2011年度から５カ年で250億円の補助を希望する自治体(大阪市、堺市以外)につけた。全自治体が希望し、施設・設備の 50%を上限に補助する。

実施内容については、デリバリーやセンター方式、親子方式など様々予定されている。その際、栄養教諭が１名のみ採用されたが 11 校かけもちすることに。

兵庫　　栄養教諭の代替は栄養教諭が来ている。

和歌山　　任用替えの状況に計画性がない。なかなか採用が伸びない中、H24 年度は５名の採用が決定している。

広島　　H23 年度まで 26名だった配置を 50 名に増やすことになったが、業務の大変さから 21 名しか受験希望者がいなかった。一方、登載者は数十名いたにも関わらずその人たちは採用されず、優先されることさえなかった。特別支援学校所属の人は今までは受験対象になっていなかったが今年度採用試験の対象になった。新規採用栄養職員は 12 年間採用がなかったが、H24 年度から採用することが決定した。

佐賀　　任用試験のみ。年齢制限なし。採用人数はわからないが、毎年栄養教諭が増えている。免許取得していても、３年間受験できなかったが、次年度からは制限がなくなる予定。特別非常勤制度を活用して、研修免除。特別支援校については、３食担当しており、寄宿舎との切り離しが出来ていない。

（3）合理化についてのとりくみ

民間委託（偽装請負）についての学習会実施に向けて…

高知　　偽装請負にならない方法を模索して、栄養士が口を出せないような条件を整備しても意味がないので、「偽装請負」自体の学習だけでなく前に進める内容を学びたい。

埼玉　　直営の調理員さんとしか経験していない栄養士と、民間委託を経験している栄養士とでは、民間委託問題について温度差があることも注意が必要ではないか。

技術のない委託業者に合わせて献立を決めるのはおかしいこと。調理技術がない上に、栄養士が指導してはいけないのでは、良い給食なんてできない。今は栄養士が指導も調理も行っている現状で、それを審査する機関もない。

東京　　江戸川区栄養士民間委託問題の問題点

・「献立作成は行政の役割である」という訴えに対しては、「献立作成は委員会が行い、献立検討の際は、区の栄養士・担当校長などが出席するので問題ない」としている。

・「私費会計、個人情報について」、区教委は、今まで通り行えるとしている。

＊行政、学校、業者との契約の形態、方法、契約時期、決まっている書類などの条件や内容が各県ごとに様々で、民託にする傾向がある中で、状況の整理が必要となる例が多くなっている。

「これって偽装請負ですか？」の質問事項を具体的にあげ、どこまでが線なのかを日常業務と照らし合わせていける学習会にしていきましょう！それを事前に明確にするためにも、早めにアンケートを取り、弁護士さんへ届けるようにしましょう。

（4）日本の農業を守り、学校給食を充実させる取り組み。

放射能汚染に対する取り組み

・京都（1Bq)、奈良（25Bq)、東京（自治体による。およそ 10Bq)、埼玉（10Bq）などが検査を実施している。経費は自治体持ち・学校持ちなど様々。　※（　）は、検査機器の可能測定値

・京都では、独自で基準値 50Bq（国は 100Bq）を基準値として定めている。検査機器の精度が高いこともあり、食材料中から微量だが４度放射能が検出された。それを正確に公表したことで、保護者から不安の声が寄せられた。数値をどう見るかが難しい。

・専門家が検査をせず、現場の栄養士がその検査のために出張したり検査したりするのは、大きな負担がある。

・奈良市では、これという基準はない。牛肉は今も使用していない。調理済み給食の検査へ移行してほしいという意見もある。

＊「安全安心を充実させるために、学校栄養職員・栄養教諭を増やせ」という提言を全教は出している（クレスコ）ので、これを活用して運動を進めよう。栄養職員部としても今後、長期的に話し合っていきましょう。

新たな TPP 反対署名のとりくみ

・昨年度、食健連のグリーンウェーブに参加しました。韓国では、アメリカとの FTA により、学校給食の地産地消のとりくみもＦＴＡの妨げになるとして攻撃を受けています。

Ｈ２４年１月に、新たな署名が各県に下りているので、引き続きご協力をお願いします。届いていない場合は、各県の本部にお問い合わせください。

給食費の無償化に向けての年度内調査（補助金も含めて）

・中村先生より、全国の給食費を補助または無償にしている自治体について資料提供がありました。

（5）組織強化のとりくみ

・**埼教組**：栄養職員部独自に加入お誘いパンフを作成しています！

・**埼高教**：埼高教のパンフに専門部一覧を載せています。

・**都教組**：毎年 4 月に新採の人たちを誘って、おいしいものを食べに行くなど歓迎会を行っています。昨年の冬には、クリスマス料理の調理実習を行い、実際の給食献立に生かせる実習となりました。

・**高　知**：青年部で今年度はじめに新採用者へ配布するリーフレットの紙面に、栄養職員としても掲載させてもらいました。一人職である栄養職員にとって、横のつながりがあることで助けてもらえて、力強いのが組合であることを伝えています。